

# Cisco Room Kit EQX

## 会議室の準備ガイドライン



このドキュメントでは、*Cisco Room Kit EQX* の設置と使用を実施するための基本的なガイドラインの概要を説明します。

つまり、これらのガイドラインでは、室内の考慮事項、画面のサイズ、壁の準備、およびテーブルの長さや座席、マイク、音響ルームのガイドライン、照明などのその他の考慮事項について説明します。

また、物理的な設置を行うための会議室の準備に必要な情報(システムのサイズと重さ、壁へのシステムの設置方法、電源とイーサネットの要件など)も含まれます。

# 目次

パート 1: 会議室に関する検討事項 .....	2
会議室の設計に関する検討事項 .....	3
Room Kit EQX の生成 .....	3
推奨される会議室のサイズ .....	4
部屋のレイアウト .....	4
パート 2: 画面サイズ .....	5
推奨画面寸法 .....	6
画面サイズ .....	6
FOV - 視野角 .....	7
画面の奥行 .....	7
画面の動作温度 .....	7
画面の重量 .....	8
VESA .....	8
シスコ検証済みディスプレイ .....	8
一般情報 .....	8
パート 3: 壁面の準備 .....	9
壁面の準備 .....	10
電源とイーサネット .....	11
壁面取り付けブラケットおよび梁 .....	12
壁面スタンドブラケットと梁 .....	13
パート 4: その他の考慮事項 .....	14
その他の考慮事項 .....	15
テーブルの長さとお座席 .....	15
マイク .....	15
音響 .....	15
照明 .....	15

# パート 1: 会議室に関する検討事項

# 会議室の設計に関する検討事項

## Room Kit EQX の生成

新しい *Room Kit EQX* は、ビデオ会議室をより柔軟にするように設計されています。部屋の条件に応じて、Room Kit EQX はスタンドの有無にかかわらず壁に直接取り付けることができます。または、自立型ユニットとして部屋に自由に配置できます。壁の種類や部屋の形状などにより、どのタイプの取り付けまたはスタンドが適しているかが決まります。壁面の準備の詳細については、「[壁面の準備](#)」の項を参照してください。

Room Kit EQX は、65" ~ 75" (画面あたり 60 fps で最大 3840 × 2160) の範囲でさまざまな画面サイズに対応できます。



壁面取り付け



壁面スタンド



フロアスタンド

# 推奨される会議室のサイズ

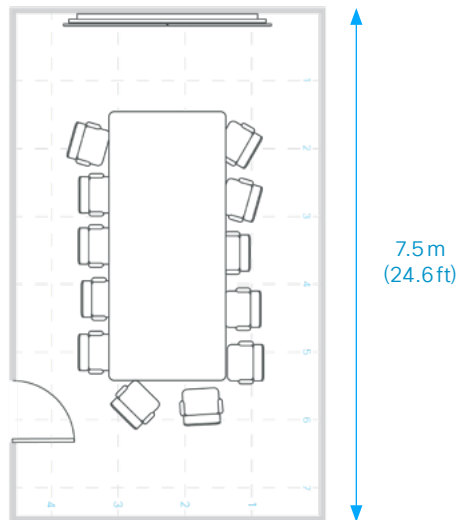
## 部屋のレイアウト

Room Kit EQX は、中規模から大規模の会議室まで、さまざまな部屋のレイアウトをサポートします。このシステムは、ビデオ会議を汎用性と柔軟性に優れたものにするように設計されています。

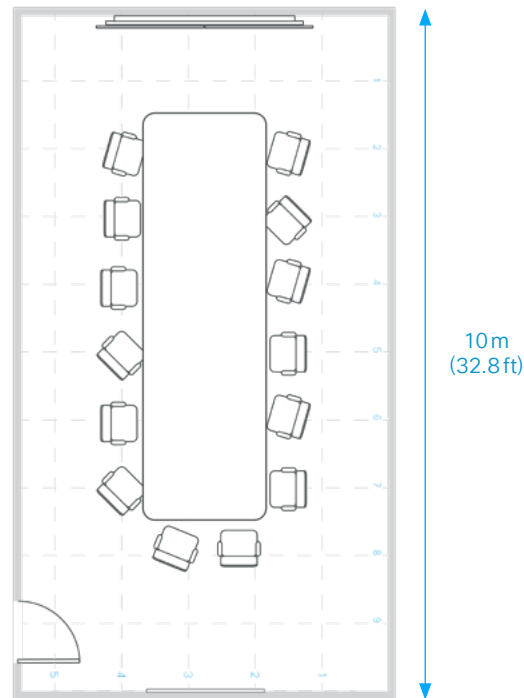
部屋のレイアウトを計画するときは、Room Kit EQX に直射日光が当たらないようにしてください。推奨動作温度および湿度は、周囲温度 0 ~ 35 °C (32 ~ 95 °F)、相対湿度(RH) 10 ~ 90% の範囲です。

最適なエクスペリエンスを実現するための最適な部屋のレイアウトの作成に関する詳細な情報については、「[効果的なビデオ対応ルームを作成するためのベストプラクティス](#)」ドキュメントの「ディスプレイに関する推奨事項」セクションと「表」セクションを参照してください。

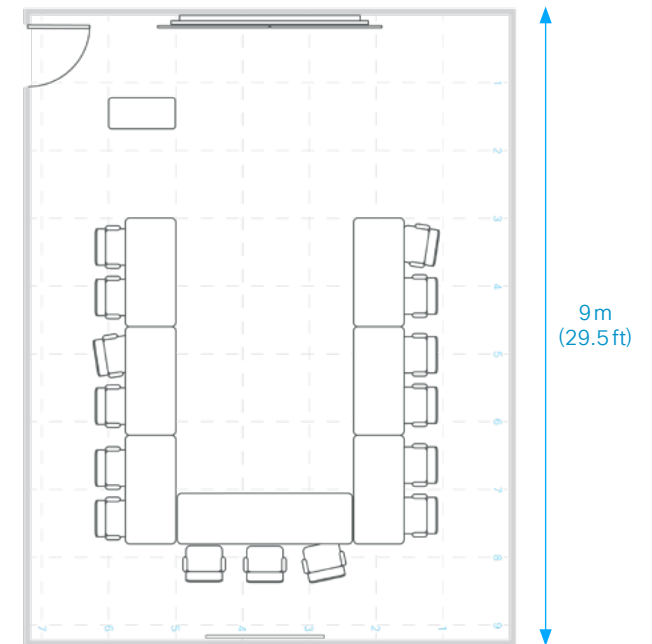
各顧客は一意です。セットアップの詳細を精緻化するには、ローカルのワークプレイス リソース チームとシステムインテグレータに關与してもらうことが重要です。一部のお客様には、特別で汎用的な設計とユーザー補助の要件がある場合があります。包括的な統合を考慮し、ユーザー補助を損なうような部屋の要素の組み合わせを避けることが重要です。



中規模会議室  
6 ~ 10 人



大規模会議室  
8 ~ 14 人



大規模会議室  
14 ~ 16 人

## パート 2: 画面サイズ

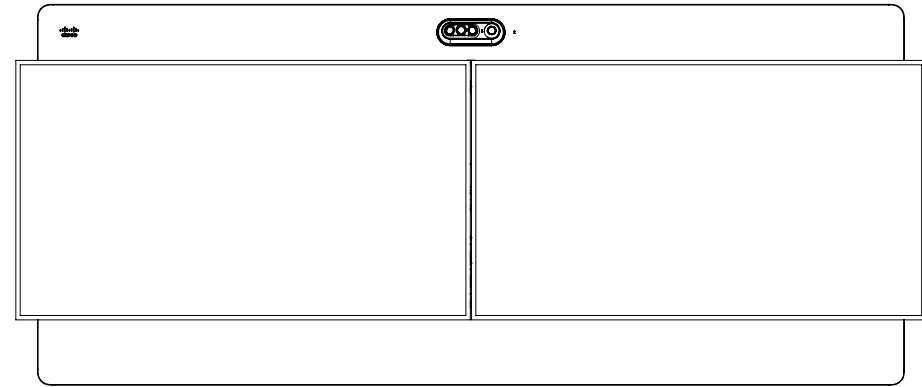
# 推奨画面寸法 (1/3 ページ)

## 画面サイズ

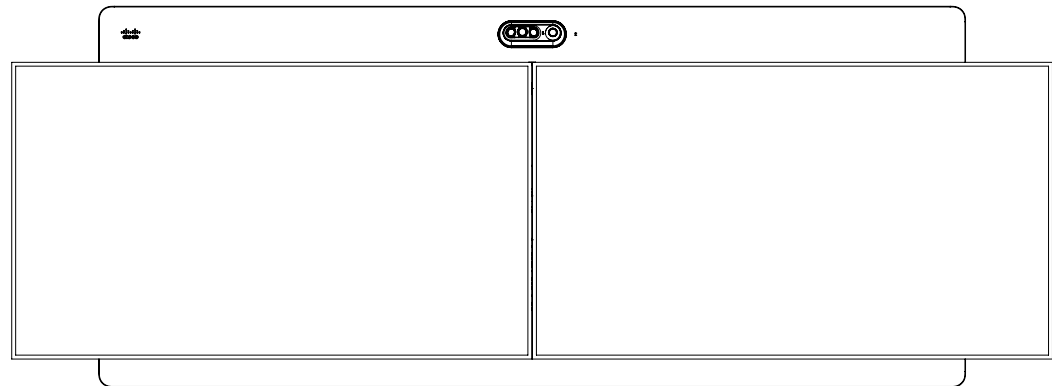
Room Kit EQX は、65" ~ 75" (16:9 の比率) の画面サイズをサポートします。最適な会議エクスペリエンスを実現するには、適切な画面サイズを選択することが不可欠です。

画面サイズは、部屋のレイアウトとサイズ、テーブルの形状、会議室の参加者数に基づいて選択する必要があります。詳細については、「[効果的なビデオ対応ルームを作成するためのベストプラクティス](#)」の「ディスプレイに関する推奨事項」と「表」のセクションを参照してください。

Room Kit EQX の画面を選択する場合、推奨される最大画面の厚さと画面の重量が非常に重要であることに注意してください。このページには、次の情報が表示されます。



壁面取り付け 65"

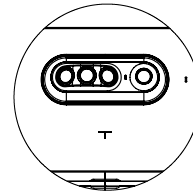


壁面取り付け 75"

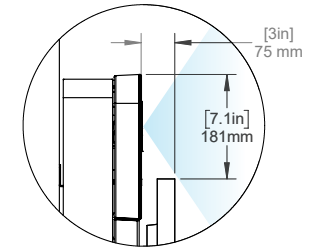
# 推奨画面寸法 (2/3 ページ)

## FOV - 視野角

画面のサイズに関係なく、画面の上端を上部グリルの T 配置マークに合わせることをお勧めします。これにより、コンテンツの可視性が向上します。画面の配置の詳細については、設置ガイド(<https://www.cisco.com/go/room-kit-eqx-installation>)の「VESA レール位置の調整」セクションを参照してください。

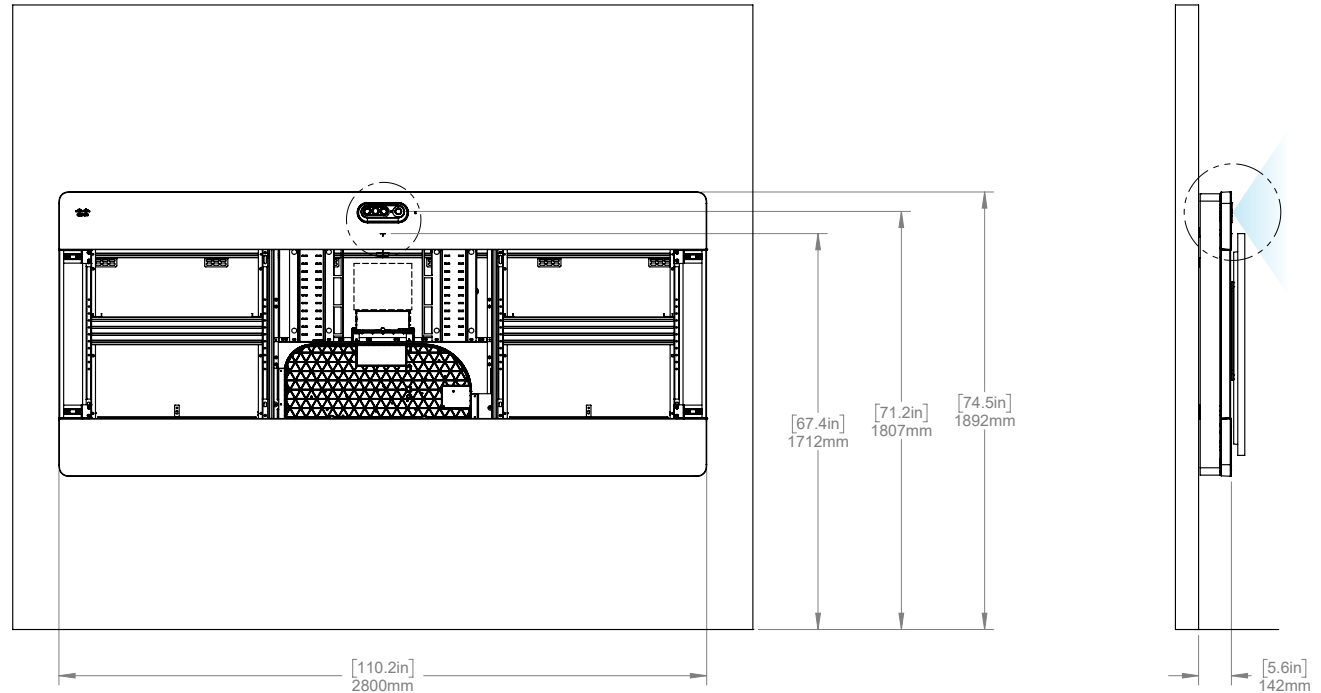


T 配置マーク



## 画面の奥行

画面がカメラの FOV をブロックしないようにする必要があります。T 配置マークから画面の外端までの合計距離が 75 mm (2.95")を超えないようにする必要があります。画面の上端が T 配置マークに水平に揃っている場合、推奨される最大画面奥行は 65 mm (2.56")です。画面の厚さが 75 mm(2.95")を超える場合は、カメラの FOV を妨げないように、画面を T 配置マークより下に下げることが検討してください。シスコは、Cisco Collaboration Devices Certification Program およびシスコ検証済みディスプレイにより、画面を簡単に選択できるようにしています。詳細については、<https://help.webex.com/7sw4gab/> を参照してください。



## 画面の動作温度

室内の最大定格周囲温度が 40°C (104°F)以上の画面のみを使用してください。



## 推奨画面寸法 (3/3 ページ)

### 画面の重量

推奨画面重量は、壁面取り付けおよび壁面スタンドとフロアスタンドによって異なります。

#### 壁面取り付けおよび壁面スタンド

- 画面あたりの最大重量は 50 kg (110 lb) です。

#### フロアスタンド

- 画面あたりの最大重量は 42 kg (93 lb) です。

### VESA

Room Kit EQX は、次の制限(最小から最大)で VESA MIS-F 標準規格をサポートします。

- 65" : 400x200 ~ 400x400
- 70" : 400x200 ~ 500x400
- 75" : 400x200 ~ 600x400

側面の寸法を参照してください。

### シスコ検証済みディスプレイ



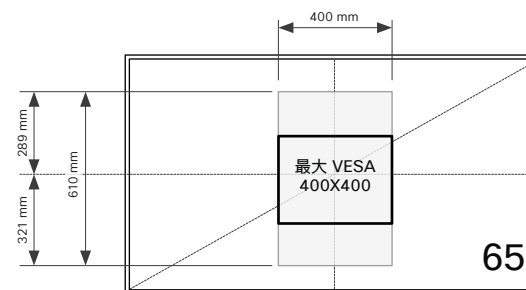
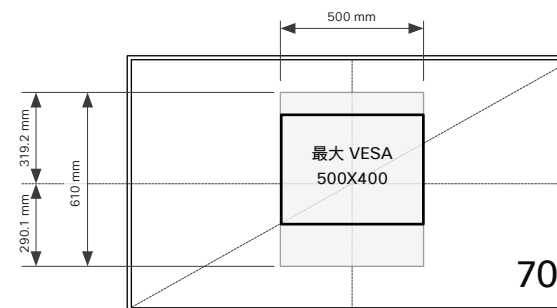
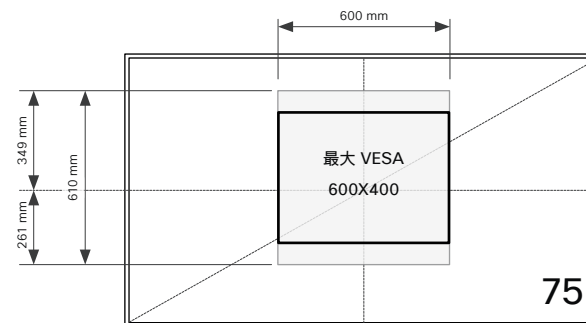
Cisco Collaboration Devices Certification Program  
およびシスコ検証済みディスプレイの詳細については、  
<https://help.webex.com/7sw4gab/> を参照してください。

Room Kit EQX のデュアルスクリーンを設置する場合、一部のディスプレイモデルでは、色の調整またはキャリブレーションが必要になる場合があります。

### 一般情報

接続用の個別の箱(I/O、電源など)を備えた画面は推奨されません。

同一の画面(メーカーとモデル)を使用することをお勧めします。



## パート 3: 壁面の準備

## 壁面の準備 (1/4 ページ)

Room Kit EQX のサイズと重量により、資格を持つ担当者が設置する必要があります。設置者は、設置の前に壁を強化する必要があるかどうかを確認し、安全な設置に必要なネジの数とタイプを計算する必要があります。

### 壁面取り付け

製品は、壁取り付け梁を使用して固定します。製品を安全に支えるために、4 ～ 6 個の壁面用ブラケットで梁を固定する必要があります。

壁面取り付け付き Room Kit EQX の総重量は最大 220 kg (485 lb) で、各画面の最大重量は 50 kg (110 lb) です。

安全に取り付けるために、6 つのブラケットすべてを使用することをお勧めします。

### 壁面スタンド

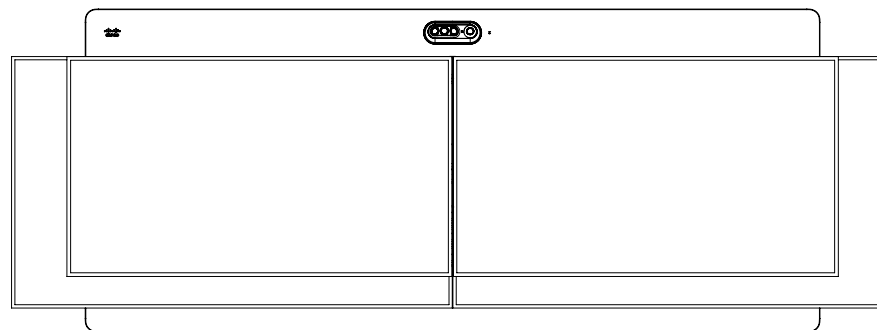
システムの全重量を支えることができない壁面および壁面構造の場合は、壁面スタンドで支える Room Kit EQX を取り付けることができます。製品は、梁を使用して固定します。製品を安全に支えるために、4 ～ 6 個の壁面用ブラケットで梁を固定する必要があります。

壁面スタンド付き Room Kit EQX の総重量は最大 235 kg (518 lb) で、各画面の最大重量は 50 kg (110 lb) です。

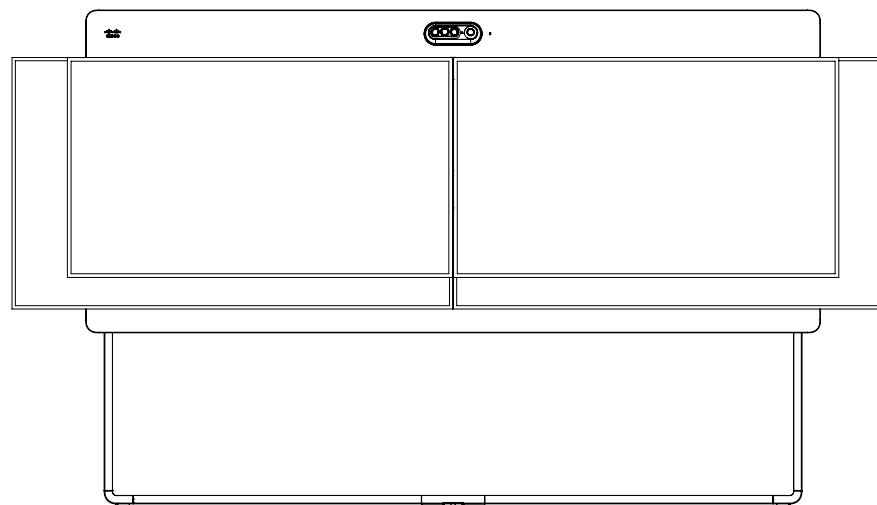
### フロアスタンド

さらに、壁面がどのタイプの取り付けもサポートしていない場合、Room Kit EQX は、完全に自立型のユニットとして使用できます。

フロアスタンド付き Room Kit EQX の総重量は最大 256 kg (565 lb) で、各画面の最大重量は 42 kg (93 lb) です。



壁面取り付け 65" ~ 75"



壁面スタンド 65" ~ 75"

## 壁面の準備 (2/4 ページ)

### 電源とイーサネット

#### ソケットコンセント (電気ボックスエリア)

電源とイーサネットソケットのコンセントを画面の後ろに設置する場合は、右側の図に「壁面ボックス領域」と呼ばれる 250 × 200 mm (9.8 × 7.9") のエリアを提案します。

システムは柔軟に設計されています。画面のサイズと VESA 規格の場所に応じて、画面の後ろの壁にソケットコンセント用の追加の内部スペースがあります。

#### コンセントの数

合計 3 つの電源コンセント(各画面に 1 つ、Room Kit EQX 用に 1 つ)が必要です。

#### 最大消費電力 (画面以外)

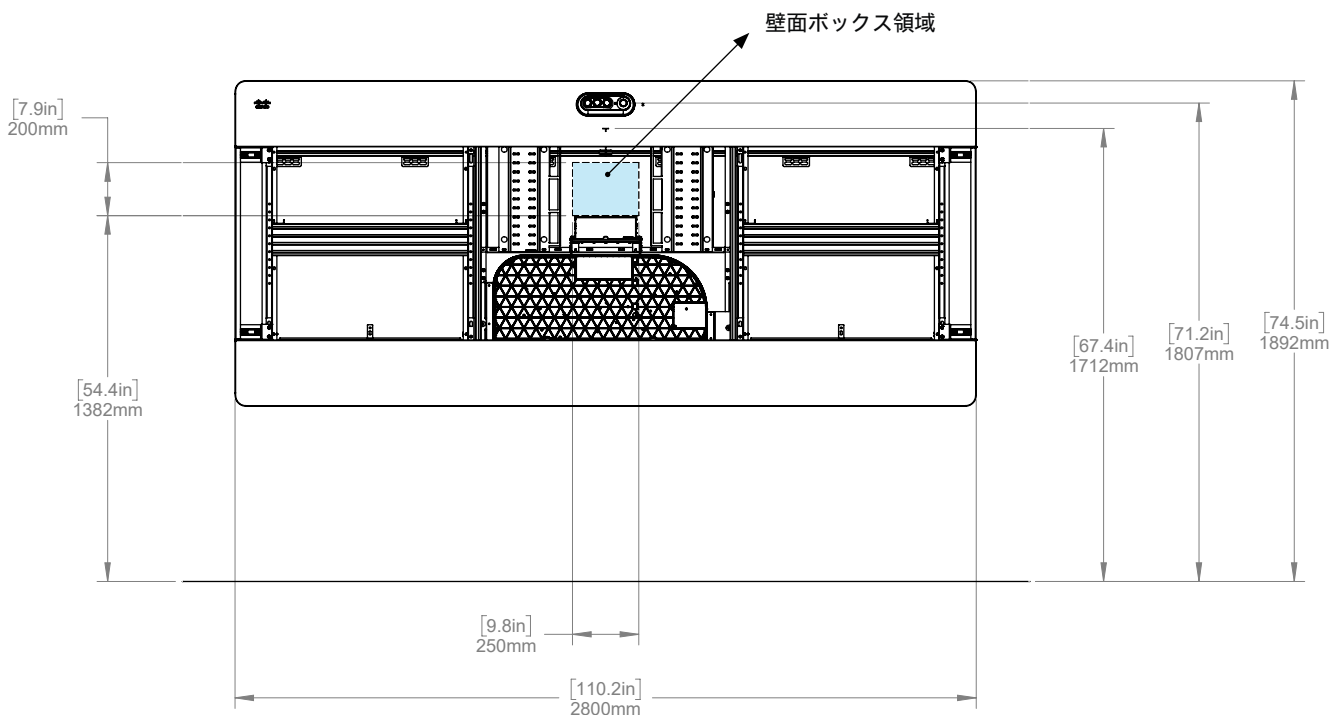
Room Kit EQX : 254 W

- ・ 100 V : 最大 2.59 A
- ・ 240 V : 最大 1.17 A

最大の定義は、すべてのコーデック出力が定格に従って最大でロードされることです。

#### LAN/イーサネット

壁面には、ローカルエリアネットワーク(LAN)/イーサネットが 1 つだけが必要です。推奨されるイーサネット帯域幅は 20 Mbps です。

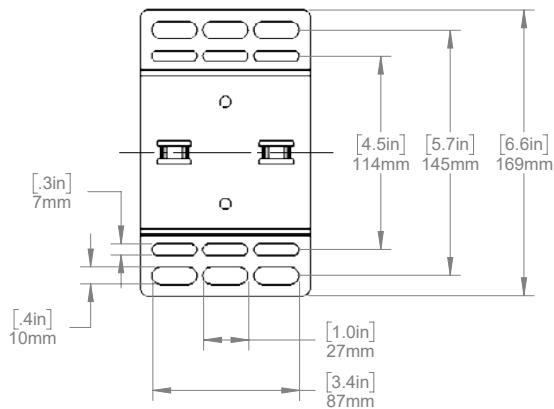
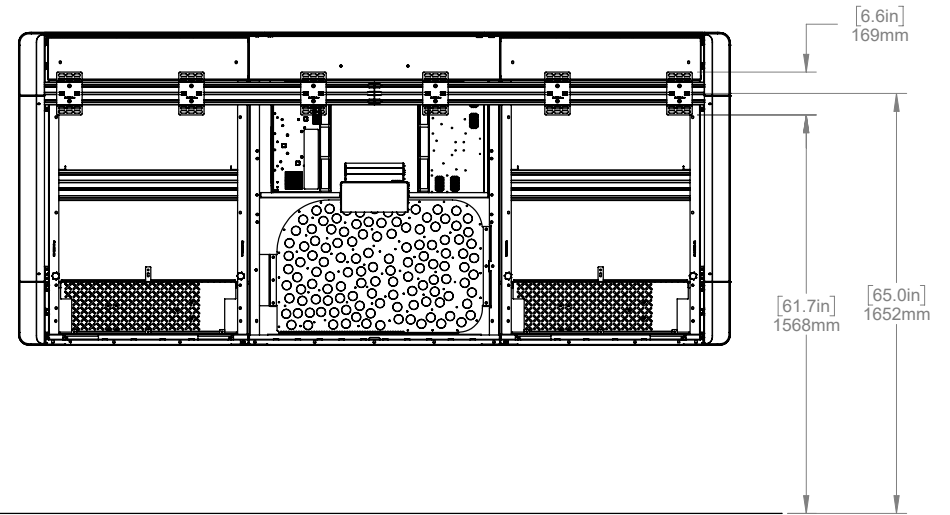


# 壁面の準備 (3/4 ページ)

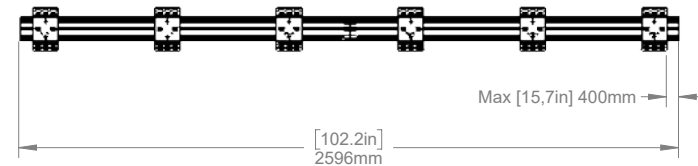
## 壁面取り付けブラケットおよび梁

壁面取り付けブラケットを使用すると、Room Kit EQX を壁面にしっかりと取り付けることができます。うまく設置するために、次を推奨します。

- ・ 装置の重量は最大 220 kg (485 lb) で、各画面の重量は最大 50 kg (110 lb) です。壁面と選択した留め具がこれを支える必要があります。
- ・ 壁面ブラケットは梁上をスライドできるため、壁面のスタッドに配置できます。
- ・ ブラケットには複数の穴があり、スタッドがなくても確実に接続できます。
- ・ 梁に均等に重量を分散させるには、梁の端からブラケットの端まで最大 400 mm 確保する必要があります。
- ・ 少なくとも 4 つの壁面ブラケットを使用する必要があります。



壁取り付けブラケット



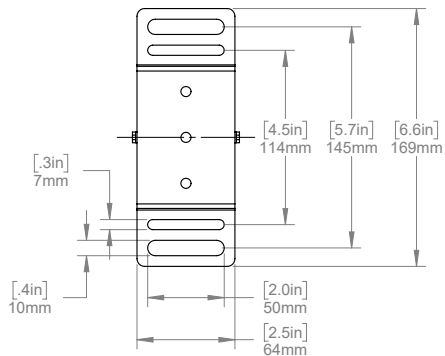
壁面ブラケット付きの梁

# 壁面の準備 (4/4 ページ)

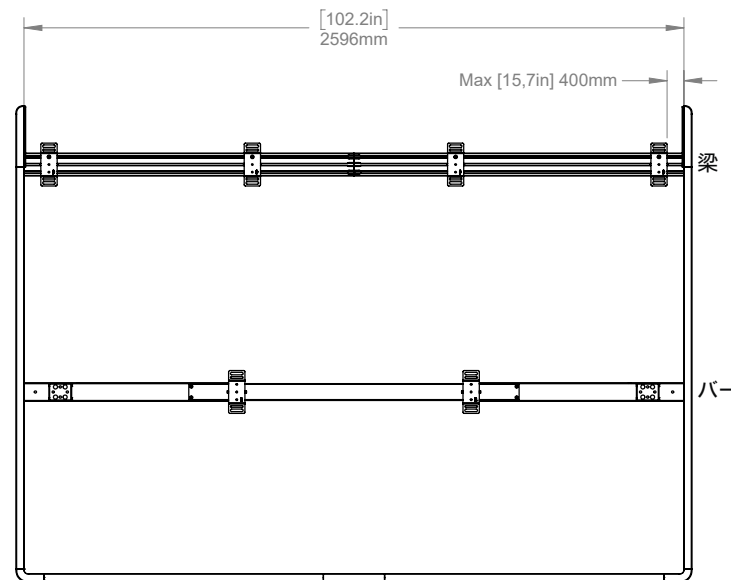
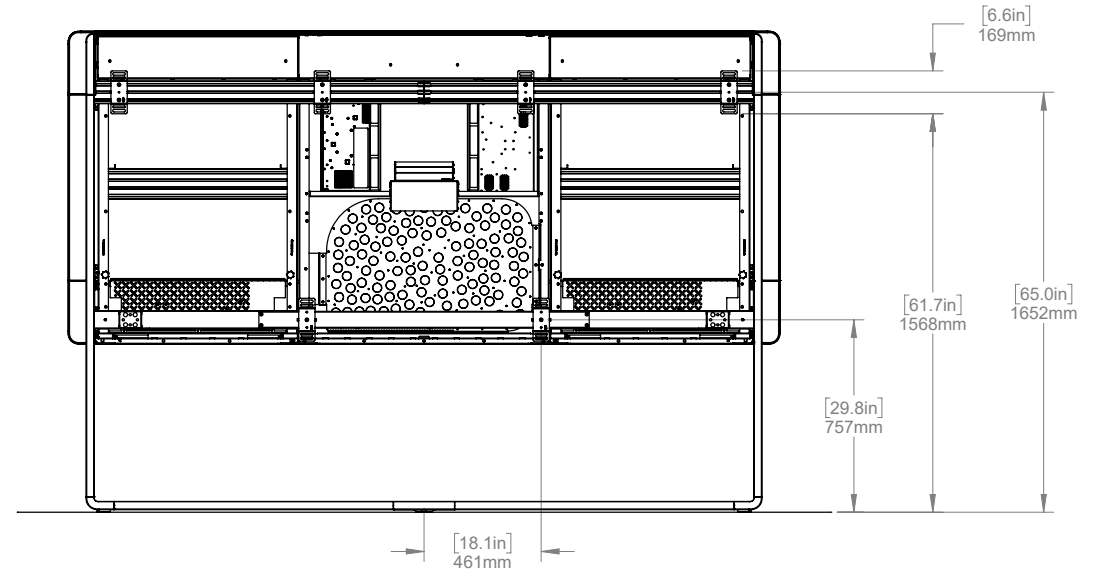
## 壁面スタンドブラケットと梁

壁面スタンドブラケットを使用すると、Room Kit EQX を壁面にしっかりと取り付けることができます。うまく設置するために、次を推奨します。

- ユニットの重量は最大 235 kg (518 lb) で、各画面の最大重量は 50 kg (110 lb) です。この負荷は、壁面スタンドの脚によって支えられます。
- 画面のポップアウトメカニズムにより、壁面アンカーに水平方向の力がかけられます。一般的に、設置にはできるだけ多くの壁面アンカーを使用することをお勧めします。壁面スタンドブラケットごとに 4 つ以上のアンカー/ネジを使用するのが最適です。
- 壁面スタンドブラケットは梁上をスライドできるため、壁面のスタッドに配置できます。
- ブラケットには複数の穴があり、スタッドがなくても確実に接続できます。
- 梁に均等に重量を分散させるには、梁の端からブラケットの端まで最大 400 mm 確保する必要があります。
- 付属のブラケットをすべて使用する必要があります。上部の梁用に 4 個、下部のバー用に 2 個です。



壁面スタンドブラケット



壁面スタンドブラケット付きの梁

## パート 4: その他の考慮事項

# その他の考慮事項

## テーブルの長さや座席

テーブルの形状と座席設定は、製品のエクスペリエンスにおいて重要な役割を果たします。Room Kit EQX では、さまざまなテーブル設定で機能するエクスペリエンスを作成したいと考えていました。

テーブルの長さや参加者の数が部屋の長さに適しており、Room Kit EQX とテーブルの間に十分なスペースがあり、椅子に十分なスペースがあることを確認します。

部屋のサイズとカメラシステムの FOV に関連するテーブルの詳細については、「[効果的なビデオ対応ルームを作成するためのベストプラクティス](#)」を参照してください。

## マイク

### IP マイク

Room Kit EQX には、IP マイク用ポートが 1 つあります。より多くのマイクを有効にするには、CBS240、CBS350、または C1200 などの互換性のあるスイッチを接続することをお勧めします。さらに必要な場合は、Cisco video collaboration デバイス (<https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/room-series/installation-guide/CBS250-CBS350-switch-configuration-for-collaboration-devices.pdf>) と一緒に使用できる「Cisco CBS250、CBS350、C1200 スwitch の構成」で記載されているスイッチを推奨します。

### 天井マイク

多くの最新の天井マイクは、ビームフォーミングになっています。ビームフォーミングマイクは、マイクの要素を配列して、直接参加者に向けて音を拾う指向性を高めることでマイクが拾うノイズと反響音を減らします。AES67 相互運用性機能は AV インテグレーションライセンスを介して使用でき、Dante インターフェイスを介してビームフォーミング天井マイクを簡単に統合できます。AV インテグレーションライセンスの詳細については、<https://help.webex.com/k35sdq/>

を参照してください。マイクの詳細については、「[効果的なビデオ対応ルームを作成するためのベストプラクティス](#)」を参照してください。

## 音響

部屋の音響条件は、ビデオコールとローカル会議の両方で重要な役割を果たします。

音響ルームのガイドラインの詳細については、「[効果的なビデオ対応ルームを作成するためのベストプラクティス](#)」を参照してください。

## 照明

ローカルとリモートの両方のテレプレゼンス ミーティングをサポートする卓越した会議室を構築する場合は、照明が必要です。最良の照明の状態を作る方法についての一般的な推奨事項を次に示します。会議の参加者に最適な外観を提供するには、キーライト、フルライト、およびバックライトで照明する必要があります。キーライトとは、対象を照らすメインの光源です。フルライトは、参加者の目の周りの暗い影をなくすために追加されたライトで、これがないと、アイコンタクトを取る際に白目の部分が消える場合があります。また、バックライトにより、対象を背景から目立たせ、シーンに奥行きが出ます。

照明の詳細については、「[効果的なビデオ対応ルームを作成するためのベストプラクティス](#)」を参照してください。



## 知的財産

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェアライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、これらは、参考資料によって本書に含まれています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している CEP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリックドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

印刷版と複製ソフトは公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト ([www.cisco.com/go/offices/](http://www.cisco.com/go/offices/)) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。シスコの商標の一覧については、[www.cisco.com/jp/go/trademarks](http://www.cisco.com/jp/go/trademarks) をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. 「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。



Cisco Systems Inc.  
Corporate Headquarters  
170 West Tasman Dr.  
San Jose, CA 95134  
USA

<https://www.cisco.com/>